

品種解説：「ユキモチ」

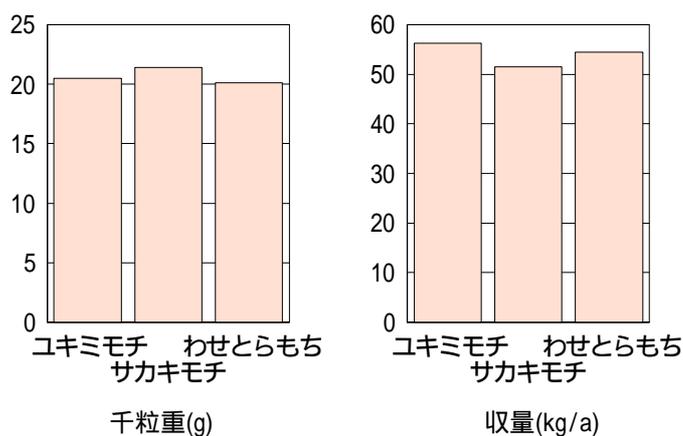
概要：本品種の障害型耐冷性は「サカキモチ」並みかやや強く、「わせとらもち」より強い。名前の意味は、“米や餅の白度が高い品種であることを「雪見」で”表現する。

1．来歴の概要

「藤もち 712」を母とし、「ふ系糯 119 号」を父として、1981 年に青森県農業試験場藤坂支場で交配された。1988 年に「ふ系糯 150 号」の系統名が付けられ、1991 年に水稻農林糯 311 号として登録された。

2．形態的特性

- ・ 稈 長：「サカキモチ」並みで、“短稈穂重型”のもち種である。
- ・ 穂 数：「サカキモチ」並みである。
- ・ 粒 大：「サカキモチ」より小さい。
- ・ 千粒重：「サカキモチ」より軽く、ほぼ「わせとらもち」並みである（下図参照）。



3．生態的特性

- ・ 出穂期：「サカキモチ」より早く、「わせとらもち」並みで、育成地では“中生の早”である。
- ・ 収量性：「サカキモチ」「わせとらもち」より高い（上図参照）。
- ・ 耐倒伏性：「サカキモチ」「わせとらもち」並みである。
- ・ 葉いもち抵抗性：「サカキモチ」より強い。
- ・ 穂いもち抵抗性：「サカキモチ」並みである。
- ・ 耐冷性：「サカキモチ」並みかやや強く、「わせとらもち」より強い。
- ・ 穂発芽性：「サカキモチ」より発芽しやすく、「わせとらもち」より発芽しにくい。

特 性	ユキモチ	サカキモチ	わせとらもち
耐冷性	中	中	やや弱
耐倒伏性	強	中	やや強
葉いもち抵抗性	やや強	中	やや弱
穂いもち抵抗性	中	中	中
穂発芽性	中	やや難	中

4．品質・食味特性

- ・玄米の外観品質は「サカキモチ」並みで、「わせとらもち」より良質である。
- ・精米の白度は「サカキモチ」「わせとらもち」より高い。
- ・餅は白度が高く、きめが細かいため外観がよく、食味、こしの強さも優れる。
- ・食味の総合評価は「サカキモチ」「わせとらもち」に優る。
- ・餅質は、一般的に切り餅、大福餅、おこわ、おはぎ用に適する。
- ・タンパク質含量は「サカキモチ」より高く、「わせとらもち」より低い。

5．適地等

- ・寒冷地北部平坦地、その他寒冷地の平坦地から山間地、および関東以西の山間冷涼地帯に適する。

6．栽培上の注意

- ・強稈であるが、品質、食味を低下させないため多肥栽培は避ける。
- ・穂いもち抵抗性が“中”なので、基準防除を徹底する。
- ・耐冷性が“中”なので低温時の深水管理を徹底する。

< 参考資料 >

農林水産省農林水産技術会議事務局（平成3年6月）：平成3年農林水産省育成農作物新品種（夏作物・園芸作物）。